

1学年だより

No. 1 2

令和7年7月8日(火)発行
大鳥中学校第1学年

9日(水)に学年懇談会

4月28日(月)に中学校入学後初の授業参観及び学年懇談会を実施したばかりと思っていたら、あっという間に明日は1学期末の学年懇談会になります。月日の経つのは早いものですね。

1学期の反省や夏季休業中の取組等について、大切な話が多々あります。皆様の来校をお待ちしています。

「職業人に聞く会」実施

講師に、果樹農家「まるせい果樹園」佐藤優様と飯坂温泉「祭屋湯左衛門」柳沼公貴様のお二人をお招きし、標記講演会を実施しました。キャリア教育の一環として、地域で活躍されている方から職業についての講話を受けることは非常に意義深いものと思います。

今回のお二人の講話では、果樹農家として、そして温泉旅館経営者として、地域のために様々な視点から提案や活動を熱心にされていることが伝わってきました。講話を聞いて、職業は収入を得るためだけではないことを生徒たちは感じたことと思います。講話の後には、生徒たちから質問がたくさん出るなど、非常に積極的な取り組みで立派でした。

なお、今回は進行に本田莉人さん、開会のことば梅津笑生さん、お礼のことば蓬田唯さん、閉会のことば金田紗蘭さんをお願いしました。堂々と立派に取り組んでいました。

事後アンケートを実施しましたが、2名の生徒の感想を掲載します。



佐藤優さんの話を聞いて、福島市では果樹の生産量が減っていることに悲しくなりました。ですが、季節の作物を育て、それらを使ったおいしそうなパフェを開発していて食べてみたいと思いました。私が質問した外国人のお客さんの対応については、園内に設置したポスターや翻訳機を使い対応している姿にすごいと思いました。

柳沼公貴さんの話を聞いて、福島市への観光客が減っていることに驚きました。お客さんの喜ぶ姿で生きがいになっていることに私も嬉しくなりました。飯坂町にも様々な問題点がある中で、笑顔でお客さんと接していてすごいと思いました。(船木 陽葵)

佐藤優さんは果樹園や飯坂町を盛り上げるために、イベントを開催したり新しいスイーツを開発したり、柳沼公貴さんは飯坂町の魅力をもっと知ってもらうために、県外への発信やイベントを開催したりして、とても頑張っているように感じました。しかし、飯坂を知らなかったり、観光客の減少や旅館などの建物が少なくなってきたりという問題点もあります。大人になってから飯坂町のために、何か自分がやるべき事はないのかと思い、自分の将来の夢と共に、飯坂町と未来に向かい進んで行きたいと思いました。良い話が聞けてよかったです。(堀江 結桜)

期末テスト結果から今後へ向けて

先週、テスト結果個票を生徒たちに配付しました。ご家庭でも確認していただいたと思いますが、いかがでしたか。

テストでの目標は、「一生懸命頑張る」とか「熱心に取り組む」などではなく、「平均点数70点以上、合計380点以上」や「順位は10番以内」などの数値目標が効果的だと思います。納得のいく点数・順位でしたか。思ったほど、家庭での学習が結果に反映されていなかったと思われる保護者の皆様もいらっしゃるかも知れませんね。

結果にある程度納得できた生徒には、ライバルは他校にたくさんいることを話しています。また、残念な結果になったと思える生徒については、学習方法について、再検討が必要だと思います。

何事もそうですが、質と量がものを言います。授業を中心とした取組を行い、家庭学習時間は、学年プラス1時間とよく言われますが、1日5時間学習しても構わないわけです。平日は難しいにしても、土日などは、本気で先を見通した目標があればできないことはありません。

しっかりとした目標をもち、実行することが大切です。目標があっても実行しなくては意味がありません。

夏休みには、学習面で大きく差がつくことと想像できます。今まで見てきた生徒で、さすがと思える生徒は、夏休みの宿題は夏休み前に計画的にやり、そして夏休み前に終了しています。生徒の皆さんの奮起を期待しています。ご家庭でも、学習できる環境作りをよろしく願います。

